

あいの風とやま鉄道の利用促進に向けて

平成 25 年 11 月 22 日

あいの風とやま鉄道(株)

あいの風とやま鉄道では、県民の通勤・通学等の日常生活における利用はもとより、県外からの観光客、ビジネス客等の利用の促進を図るため、現在、「富山県並行在来線経営計画概要」を踏まえ、以下のような方向で利用促進策について検討等を進めている。

(1) 利便性の向上

① 利便性の確保を基本としたダイヤ設定

- ・ 経営計画概要の基本ダイヤ案をもとに、具体的なダイヤについて検討を進めているほか、今後、隣県や関係機関と調整のうえ、ダイヤを決定する。

※ダイヤ発表 平成 26 年度後半（新幹線ダイヤ等を踏まえた調整が必要）

② パークアンドライドの推進等

- ・ 各駅周辺のパークアンドライドの状況等を踏まえ、JR から譲渡を受ける用地の境界確認作業を進め、沿線市町と駅周辺での駐車場の整備や既存駐車場の利活用について、協議を進める。
- ・ 一部市町から、JR 用地を市町で整備し駐車場として活用したいとの意向も聞いており、なるべく早く整備候補地を洗い出しのうえ、26 年度から具体的な整備手法や管理方法等について関係市町と協議する。

③ 交通 IC カードの導入

- ・ 県の支援を受けて、交通 IC カードシステムの基本設計を実施中（H25. 7～H26. 3）。引き続き、JR 西日本の交通 IC カード（ICOCA）を導入する方向で、県とともに JR 西日本や隣県との調整等を進めていく。
- ・ 基本設計では、各駅に配置する機器（改札機、チャージ機等）の配置数や ICOCA サーバーとのネットワークの構築方針等を検討中。

④ アテンダントの配置

- ・ 円滑な導入に向けて、引き続き先行事例の取り組み手法や抱える課題等を調査研究し、例えば開業から一定期間、富山駅構内の案内やワンマン運転導入時に一部列車にアテンダントを導入する場合の具体的な体制、財源の確保等について検討中。

(参考) アテンダントの先行事例

* 青い森鉄道；東北新幹線全線開業時（H22～現在）

駅やワンマン列車内で案内業務や外国人利用者への対応

⑤ 他の交通機関等との連携

- ・ 今後、県内の他の鉄道会社やバス会社等と、乗り継ぎしやすいダイヤ設定や乗継割引の導入、共通きっぷ・企画きっぷの販売などについて、協議を進める。

※ 県では、今後、県内公共交通企画きっぷ社会実験事業を予定（12月補正）

〔 県内の交通事業者と連携し、企画きっぷの導入可能性を探る社会実験を実施し、商品化に向けた課題を検証 〕

⑥ 関連事業の展開

- ・ 富山駅並行在来線高架下空間については、今後、先行事例等を参考に、県とともに、運営のあり方や商業施設等の内容について検討を進める。

※県では、並行在来線高架下空間について、富山駅賑わい創出可能性調査・検討業務を実施中。（H25.5～H26.3）

〔 あいの風とやま鉄道の経営安定に寄与する効果的な運営形態（直営、業務委託、貸付）について調査するとともに、富山らしい施設・店舗（観光物産、飲食店等）の立地可能性について検討 〕

- ・ 広告業、小売業、駐車場業等の関連事業についても、JR西日本や現在事業を実施しているJRのグループ会社と円滑な業務の引継ぎについて協議を進めるとともに、収益性を高める観点から、直営化も含めて、効果的な実施体制等について検討を進める。

(2) 新駅の設置

① 高岡—西高岡間

- ・ 県、高岡市の助成を受け、駅舎の基本設計を実施中（H25.10～H26.3）。

※高岡市では、駅周辺のまちづくり計画を策定中（H25年度末をめどに策定）

② 富山—東富山間

- ・ 駅舎の位置等について、県とともに、利用者の利便性や関連の鉄道設備の状況等も勘案し、富山市にも情報提供しながら検討しており、今後、具体的に県、富山市と協議する予定

※県では、候補地周辺の県有地について排水路や区画内道路等の計画に必要な測量等を実施（H25.5～H25.9）。駅舎の位置が決まり次第、具体的な土地利用計画（街区、排水、緑地計画など）及び道路等施設設計を実施する予定

(3) マイレール意識の醸成

① 三セク会社の会社名の公募・決定 (H25. 7. 1)

- ・ 応募数 5, 380件
- ・ 社名にふさわしいロゴマークについて、指名コンペのうえ、近く決定する予定。

② 駅舎の利活用、駅の管理への協力

- ・ 本年8月～9月に、沿線市町村や経済団体、JR西日本を通じて、駅舎を活用したソフト事業（イベント開催、環境整備活動）の実施状況と当社開業後の実施意向等について調査。※調査結果 別紙1参照
- ・ 現在18駅で、観光案内、作品展示などのイベントの開催や、美化活動、花壇整備など環境整備活動が実施（67団体）されているが、当社開業後の実施意向も含めると、実施団体が増加（新規実施意向35団体）するほか、全19駅に活動が広がる見込み。
- ・ 引き続き、沿線市町村や経済団体、JR西日本等の協力を得て活動団体への働きかけや調整を行う。
- ・ また、平成27年度以降の駅舎の改修等を伴う利活用案についても、弊社から沿線市町に対し、駅舎毎に活用可能なスペースを提示し、市町において平成25年度中に検討し、26年度から弊社と協議をいただくよう依頼済み。

③ 地域住民、企業、団体等による支援の推進

- ・ あいの風とやま鉄道に対する県民のマイレール意識の醸成や鉄道の利用促進を図ることを目的に、平成26年度後半に「あいの風とやま鉄道ファンクラブ（仮称）」を発足する方向で検討中。
- ・ 引き続き、効果的な会員サービス等について検討し、平成26年8月頃から会員募集予定
※あいの風とやま鉄道ファンクラブ（素案） 別紙2参照

④ 開業時イベントの実施

- ・ 開業時に、あいの風とやま鉄道として、富山駅等で出発式の実施を検討中。
- ・ 新幹線の開業イベントとも調整等を図りながら、あわせて、各駅舎周辺で開業関連イベントの実施等について、沿線市町等で検討願いたい。

(参考) 開業時イベントの先行事例

* IGR いわて銀河鉄道(開業時 H14)

鉄道パネル写真展…一戸駅ほか(主催 一戸町並行在来線利用促進協議会)

* 青い森鉄道(全線開業時 H22)

あったかおもてなしイベント…11駅で利用者に「しじみ汁」等を提供

(主催 青い森鉄道プラットフォーム…事務局 NPO 法人)

駅舎の利活用調査結果について

平成 25 年 11 月 22 日
あいの風とやま鉄道㈱

1. 調査概要

今年 8 月～9 月にかけて、沿線市町村や経済団体、JR 西日本を通じ駅舎におけるソフト事業（①イベント開催②環境整備活動）の現在の実施状況及び当社開業後の実施意向について調査を実施。

2. 調査結果

ソフト事業については現在、全 19 駅中 18 駅で様々な活動が実施されているところであり、当社開業後の実施意向も含めると全駅に活動が広がる見込み。

取組概要

区分	活動内容	実施団体数		
		現在	新規実施意向	合計
① イベント開催	イルミネーション	3	0	3
	産直・特産品販売	2	9	11
	観光案内・PR 展示	6	4	10
	コンサート	1	2	3
	作品展示	5	5	10
	その他	3	4	7
小 計		20	24	44
② 環境整備活動	美化活動	23	4	27
	花壇整備	16	4	20
	除雪作業	1	1	2
	その他	7	2	9
小 計		47	11	58
合 計		67	35	102

※活動主体：商工会議所、商工会、観光協会、防犯協会、地元企業
地元小学校・中学校、花と緑の銀行など

3. 今後の予定

	活動団体への働きかけ	社内の取組み
平成 25 年度	・アプローチ、情報提供等	・活動団体への協力等の内容検討
平成 26 年度	・平成 27 年度の取組への協力依頼	・広報計画の策定 ・表彰制度の創設

現在の駅舎利活用取組例

<イベント開催>

活動内容：イルミネーション（駅前広場のイルミネーション）

場 所：入善駅

人 数：30人

活動時期：冬期間

活動主体：観光物産協会

活動内容：産直・特産品販売（地元農家による特産品の販売）

場 所：福岡駅

人 数：15人

活動時期：9月23日、24日

活動主体：第三セクター会社

活動内容：観光案内（イベント開催時の観光案内）

場 所：魚津駅

人 数：2～3人

活動時期：じゃんどこい魚津まつり等イベント開催時

活動主体：ボランティア団体

<環境整備活動>

活動内容：美化活動（駅舎、駅周辺の清掃活動）

場 所：富山駅

人 数：30人

活動時期：四季ごとに年4回

活動主体：地元企業

活動内容：花壇整備（駅前にフラワーポット設置、管理）

場 所：石動駅

人 数：20人

活動時期：3月、6月、11月

活動主体：花と緑の銀行、地元高校生

あいの風とやま鉄道ファンクラブ(素案)

平成25年11月22日

あいの風とやま鉄道(株)

1 目的

本会は、会員のためのサービス事業の実施を通じて、あいの風とやま鉄道に対する県民のマイレール意識の醸成や鉄道の利用促進を図ることを目的とする。

2 会員、会費、事務局

(1) 会員 (年会費)

①一般会員(個人) @ 1,000円

②特別会員(個人・法人) @ 10,000円

(2) 事務局

あいの風とやま鉄道(株)総務企画部総務課

3 会員のためのサービス事業

(1) 会員証の発行(カード形式)

(2) 情報提供…情報誌又はメールマガジンの発行(沿線イベント紹介、観光情報等)

(3) 1日フリー乗車券(一般会員 年1枚、特別会員 年5枚)

(4) 会員による自主活動(イベント開催等)への支援

4 特別会員会費の使途

駅舎利活用のソフト事業等に活用

5 今後のスケジュール

(1) 募集 平成26年8月～11月

会社HP、チラシ配布、県・市町村広報誌掲載

(2) サービス開始

平成27年 1月 会員証の発行

2月 情報提供開始

3月 1日フリー乗車券発行(開業記念乗車券)

三セク会社のファンクラブ、サポーターズクラブ等の設置について

並行在来線			民鉄		
県名	青森県	長野県	熊本・鹿児島県	富山県	福井県
団体名	青い森鉄道サポーターズクラブ	しなてつファンクラブ (前身:①しなの鉄道ファンクラブ ②しなの鉄道きっぷくらぶ)	肥薩おれんじ鉄道友の会	万葉線を愛する会	えちてつサポーターズクラブ
設立年月日	平成22年10月5日	平成25年10月1日 (前身:①平成18年7月②平成19年4月)	平成17年2月1日	平成5年10月21日	平成17年
会社名	青い森鉄道㈱	しなの鉄道㈱	肥薩おれんじ鉄道㈱	万葉線㈱	えちぜん鉄道㈱
開業年月日	平成14年12月1日	平成9年10月1日	平成16年3月13日	平成14年4月1日	平成14年9月17日
事務局	NPO法人 ACTY	しなの鉄道㈱	肥薩おれんじ鉄道㈱	射水市生活安全課 ・高岡市地域安全課 ・万葉線㈱	
会員・会費	・正会員:⑤5,000円 ・企業特別会員:⑩10,000円 ・情報会員:①1,000円	・一般会員:①1,000円 ・子供会員:⑤500円(子供会員のみの入会 は不可、同時に保護者の入会が必要)	・1年会員:①1,000円 ・3年会員:③3,000円	・個人:①1,000円 ・法人:⑩10,000円	・個人会員:①1,000円 ・ゴールド会員:⑩1,000円(65歳以上) ・ファミリー会員:⑤500円(個人会員 の同居家族) ※定期利用者は会費免除
特典	・会員限定缶バッジ ・イベント優先案内 ・オリジナルグッズプレゼント	・会員証 ・ポイント進呈(定期券、フリー切符、オリジ ナルグッズ購入時) ・会員限定お楽しみ企画(無料車両基地見 学など) ・会報誌の送付 ・旅行商品の割引	・会員証 ・乗車券等購入金券 (500円分、3年会員は1,500円分) ・友の会指定店舗での割引 ・沿線イベント紹介や観光情報送付 ・1日フリー乗車券(条件あり)	・会員証 ・万葉線回数券 (個人会員770円分、法人会員5,500円分) ・加盟店での割引サービス ・会報誌の送付	・会員証 ・普通乗車券1割引 (ゴールド会員は2割引) ・乗車ポイント景品 ・加盟店での割引サービス ・会報誌の送付 ・ツアーの割引
活動内容	・トークリレーの実施 ※上記のほか、受託事業を実施	・イベント開催	・なし	・電車を利用したオリジナルツアーの実施 ・沿線ショップセレクトコーナー屋上でのビア ガーデンの開催	・花壇整備 ・看板の設置 ・オリジナルツアーの企画 ・花の寄せ植えコンテストの企画
備考					利用者主体の利用促進活動組織

※ いわて銀河鉄道(並行在来線)、富山地方鉄道、富山ライトレールには設置されていない

平成25年11月現在